

種撒く人

デスクライトが灯っている
沈黙の
時の淀む部屋

詩という装飾が対象を失い
単なる文字や音声に興醒めし
凍りついたように静止している

つるつるとしたプラスチックの鈍い反射は
永遠ではない
ただの無機的安定性を示している

社会そのものが共有するもの
それはどこにもない
その必要性がない

全ては外部に任されている
共通であるべきものとして
拘束すべきものとして

知っている必要はない
我々はただ「承知」しておけばよい
当然そうあるべきなのだろう、というふうに

揺らぐことのない固定的な光線
それを受ける滑らかなものたち
それらで構成された部屋

紡がれたものではない糸
織られたものではない布
切り揃えられたものではない木材

撒かれることのない種子
収奪
損耗

これら

つるつるとした床に
僕は空しく撒き散らしている

(2008.2.16)